



# 年頭の挨拶

知名町議会議長 田中富行

新年明けまして おめでとうございます。

本年も変わらぬご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

私は昨年9月の改選後初の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、はからずも議長に選任されました。爾来、各位の絶大なるご指導とご協力を賜り、微力ながら議会の円滑な運営と町政進展のため全力を尽くして参りました。お蔭様をもちまして大過なく、平成25年の新年を迎えることができましたことを心から厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、暮れの12月に執行されました衆議院議員総選挙において、自民党が単独過半数を獲得し、3年3ヶ月ぶりに政権を奪還いたしました。

安倍総裁は長引くデフレ脱却に向けて「大胆な金融政策と公共投資が必要」として、大型補正予算の早期編成によって公共事業を拡大させる考えを表明しています。

最も重視する政策を国民に世論調査した結果「景気や雇用」「年金や医療など社会保障」が上位に挙げられていました。これは国民が暮らしの現状と先行きに不満や不安を抱えている証であります。自民党政権に望むことは、国民の負託に応える政治を進めて頂きたいと思えます。

国土交通大臣政務官に就任した徳田代議士は、先日の時局講演会で平成25年度末で期限切れになる奄美群島振興開発特別措置法改正について「今回の改正を機に奄美にとって使い勝手が良く奄美の振興に本当に役立つ奄振に変えていきたい」と語っていました。

本町の基幹産業であります農業・畜産の振興発展をはじめ、商業や観光の景気回復、さらには教育環境や高齢化時代に向けての対応、情報システムの整備など課題は山積しております。

私達議員も町民の代表としての責務と役割の重大さを深く自覚し、決意を新たに自らの行財政改革の徹底と議会の活性化に取り組んで参る所存でありますから、今後共、種々ご指導を賜りますようお願い申し上げます。平成25年が皆様にとりまして、幸せ多い年でありますようお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成25年1月元旦